

1 講座名	基礎ロシア語	6 教科書名	
2 科目名(教科)	外国語	ロシア語教科書『ТЕПЕМОК』(初級編)	
3 開講学年	3	7 使用教材	
4 履修区分	自由選択	配布資料など	
5 単位数	2		

1 科目の目標・学習内容

<ul style="list-style-type: none"> 文字の読み書きができ、あいさつや簡単な受け答え、自己紹介など基礎的なコミュニケーション能力の定着を図る。 基本的な語彙力や文法運用能力を養成する。 ロシアの文化に興味・関心を持ち、自国の文化と比較探究して尊重できる力を育む。
--

2 学習の到達目標

(関心・意欲・態度)	a 語学に興味・関心を持ち、積極的に努力する姿勢が見られる。
(表現力)	b 学習内容を理解し、ペアワークや発表などで他者にわかりやすく伝えることができる。
(異文化への知識・理解)	c 海外に興味・関心を持ち、授業や調査研究を通じて視野を広げ、異文化を尊重する態度を持つ。
d	

3 学習計画

<特に培いたい資質・能力>

①「知識・技能」②「思考力・判断力・表現力」③「主体性・積極性」④「協調性・柔軟性」⑤「チャレンジ精神」⑥「責任感・使命感」

月	単元名	学習内容	資質・能力	単元の評価規準 (先頭の番号は評価の観点)	評価方法
	オリエンテーション	授業内容の説明	①	この単元では評価しない。	授業態度観察
4	第1課	アルファベット	①	a.文字の読み書きと発音ができる。	授業態度 課題の取り組み状況
5	第2課	アクセント	①	a.アクセントと強弱のリズムをつかむ。	授業への参加態度 課題取り組み状況
6	第3課	簡単な単文	②③	a.b.授業に積極的に取り組み、単文を使って意思表示ができる。	授業態度 表現力 課題への取り組み姿勢
	第4課	代名詞	①	a.b.代名詞を使って単文を作れる。	表現力 取り組みへの姿勢
	第5課	疑問詞	①	疑問詞を使って表現できる。	表現力 取り組みへの姿勢
前 期 中 間 考 査					
7	外部識者による講話 (札幌国際交流プラザ)	札幌国際交流プラザの交流員による講義を聞き、ロシアの現状や人々の暮らしや文化理解を深める。	①	積極的に話に耳を傾け、理解を深めている。	講話に関するレポート
	第6課	あいさつ表現	①③	あいさつや日常で使う慣用表現を理解して使える。	授業態度 表現力 取り組み状況

8	第7課	人称代名詞と対格形	②③	自己紹介に関する表現を使って周囲と意思の疎通が図れる。	表現力 取り組み状況
	第8課	名詞の性	①②	民族名を通じて、男性名詞と女性名詞についての理解を図る。	表現力 取り組み状況
	第9課	お詫びの表現	①②	お詫びの表現と受け答えの表現を理解する。	表現力 取り組み状況
	第10課	助動詞	①②	可能を表す助動詞の使い方を修得する。	表現力 取り組み状況
	復習（第1課～第10課）	既習事項の復習	①	学習内容が定着できている。	演習問題の取り組み状況
小テスト					
9	第11課	所有代名詞	①②	所有代名詞を使って、実践的に活用できる。	表現力 取り組み状況
	第12課	家族に関する語	①②	両親、兄弟姉妹、親族に関する語を学び、実践的に使える。	表現力 取り組み状況
10	外部識者による講話 （大学出前講座）	大学の識者による講話を聞き、ロシアの現状、社会生活と課題などについて理解を深める。	①	積極的に話に耳を傾け、理解を深めている。	講話に関するレポート
11	第13課	名詞の対格形、動詞の命令形	①②	使い方を修得し、活用できる。	表現力 取り組み状況
	第14課	動詞の活用①	①②	動詞の活用の仕方に習熟する。	表現力 取り組み状況
12	第15課	動詞の活用②	①②	動詞の活用形態を文章の中で応用できる。	表現力 取り組み状況
卒業考査					
1	ロシアに関するプレゼンテーション	図書室にあるユーラシアブックレットの中から興味のあるを1冊選び、プレゼンテーションを行う。		興味のあるテーマを選び、わかりやすくクラスメートにも興味を持ってもらえるように工夫して発表する。	表現力 準備へ取り組む姿勢 発表の仕方や内容

4 評価基準等

評価の観点（2 学習の到達目標に記載のa～c）に従い、観点別に総合評価します。
小テストを年4～5回、学年末に定期考査を実施。他に各単元への取り組み姿勢、レポート、プレゼンテーションも評価対象とする。

5 その他